

総論

- 両首脳は、**経済の自律性と強靱性の確保に関する共通認識を共有し、科学技術、半導体、AI、エネルギー、重要鉱物、農業の分野**において、**優先的に推進すべき具体的な協力事項**について一致。

科学技術

- 2026年中に日越科学技術協力合同委員会を開催することを確認。
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）とベトナム国家宇宙センター（VNSC）の間で署名された「衛星データ交換に関する協定」に基づき、**災害対応及び農業等の分野への衛星データの活用促進を確認。**
- **災害予測や気候変動対策のための地球観測、衛星データ活用に関する人材育成などの分野における連携を、引き続き強化**することを確認。また、**宇宙空間の平和かつ持続可能な利用を確保するため、国際場裡における協力を推進**することで一致。
- 「情報通信技術及びデジタルトランスフォーメーション分野における協力覚書」の下、効果的に通信分野等における連携等の協力を実施することを確認。
- 日越間の官民でハイテクに関する議論を行うための場を早期に調整していくことで一致。

半導体

- 「**日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）**」および「**さくらサイエンスプログラム**」を引き続き効果的に実施していくことを確認。
- 両国間の教育協力の象徴的なプロジェクトである日越大学に開設された**半導体チップ技術学部の開始を歓迎。**



AI

- 「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」の枠組みを通じて、**AI分野における具体的な協力を推進**することを確認。
- 日本は、AI分野の信頼できるパートナーとして、**アジアの多様な言語・文化を反映した大規模言語モデル(LLM)や産業別のAI基盤の共同開発および活用に向け、計算資源、知見、及びAI開発のノウハウを提供**する用意があることを表明。
- 日本は、ODA及び産官学での連携を通じ、AI人材育成や交流を力強く支援していくことを表明。
- 広島大学とハノイ工科大学の科学技術協力を通じた日越共同研究プロジェクトの採択を決定。

エネルギー・重要鉱物

- サプライチェーンの維持と地域のエネルギー自律性に向けた協力の推進。
- **AZECの枠組みにおける15のパイロットプロジェクトの早期実施、及び「パワー・アジア」(アジア・エネルギー・資源供給力強靱化パートナーシップ)の下での協力案件の具体化**について、双方の互惠原則の下で協議を促進。
- **「パワー・アジア」の枠組みの下、日本の官民のパートナーによる、ニソン製油所における原油調達にかかる支援を行う方向で一致。**
- 双方のニーズと能力に応じた、**2040年以降の原子力分野における協力の可能性に関する協議を促進。**
- 日越サプライチェーン強靱化に向けて、**重要鉱物分野における協力の推進**を議論。

食料安全保障

- 日越農業協力の中長期ビジョンを効果的に実施するための連携を確認。
- メコンデルタ地方における**高品質・低排出米100万ヘクタールプログラムの実施を民間企業と共に進めることで、世界の食料安全保障に貢献。**
- ベトナム産ポメロと日本産ブドウの相互の市場の早期開放に向けた調整を加速。